

## 堀江地区タウンミーティング(要約)

テーマ：地域の課題とこれからのまちづくり

平成29年1月13日（金曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は、金曜日の夜です。平日ですので、色んなことがあったのではないかと思います、このように多くの方にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。また、本日のタウンミーティングの開催にあたりまして、堀江地区まちづくりコミュニティ会議の役員の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。この堀江地区でタウンミーティングを開催させていただくのは3回目になります。私が市長に就任させていただいたのが、平成22年11月でしたけれども、タウンミーティングは1期目の公約に掲げていました。市役所で待っているほうが楽ですが、果たしてそれでいいのでしょうか。松山市には、旧北条市、旧中島町をあわせて41地区ありますけれども、各地区に課題もあり、魅力もあります。皆さんの声を聞かせていただいて、魅力は伸ばし、課題は減らすために、各地区に出向いていくタウンミーティングを開催させていただいています。2期目に入らせていただいて、地区別だけではなく、世代別のタウンミーティングも始めました。子育て世代、高齢の方、大学生世代や専門学校生世代、それぞれの意見があるでしょうということで、世代別のタウンミーティングを開催しています。また、職業別のタウンミーティングもしています。農業分野の方や商店街関係の方のところに行かせていただいて、話を聞かせていただいています。世代別、職業別、地区別のタウンミーティングをさせていただいて、今日で99回目になりました。この松山市版のタウンミーティングの特徴は、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないことです。できるだけこの現場でお答えをしますが、中には国や県に関係する案件や、財政的によく考えなければいけないものもあります。いい加減な返事をして帰るわけにはいけませんから、そういうものはいったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途に必ず返事をするというのが松山市版のタウンミーティングです。今日も皆さんといい意見交換ができればと思います。このタウンミーティングで99回ずっと言い続けてきたことがあります。それは3つのことです。行政として、しっかりとすべきことがあります。そして、2つ目に、民間や地元の方々でできることもあろうかと思えます。また、3つ目に、行政と地域の皆さんが一緒になってできることもあろうかと思えます。今日は将来の堀江に向かって、有意義な意見交換ができればと思います。90分という長い時間ですので、緊張されていると疲れてしまいますから、あまり緊張なさらずに、ざっくばらんな意見交換ができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【司会】 それでは堀江地区の取り組みについて市長からご説明いたします。

【市長】 皆さんができるだけ質問しやすくなるように、私から堀江地区の取り組み状

況について述べさせていただいて、今日は4名の部長や課長が来ていますので、それぞれの担当している分野などを紹介します。堀江地区でのタウンミーティングは、1巡目を平成23年4月にさせていただき、2巡目は平成25年5月に開催させていただきました。それでは、代表的な例からご紹介させていただきます。1巡目、平成23年4月のタウンミーティングで、堀江港の活性化について、ご要望をいただきました。地元の皆さんのご協力もいただいて実現したのが、まつやま・ほりえ海の駅「うみてらす」です。堀江港を発着するフェリーは、昔は国鉄のフェリーもありましたし、民間のフェリーもありました。でも、1つ減り、2つ減り、堀江港周辺が寂しい状況になっているため、にぎわいを取り戻したいという住民の方のご意見がありました。平成25年3月に、堀江地区の皆さんの熱い思いの結晶である「うみてらす」が完成し、落成式では、餅まきや写真展など、さまざまなイベントを実施していただきました。また1つ新たな地域の「宝」が誕生した瞬間でもありました。この「うみてらす」には、ヨットやプレジャーボートが係留できる浮き桟橋や、誰でも気軽に立ち寄り、憩える休憩所を整備し、フリーWi-Fiサービスも提供しています。そして、関西圏や広島でヨットやクルーザーをお持ちの方がいらっしゃいますが、そういった方が停めやすくするため、もともとは黒いタイヤのクッション材であったものを、白いヨットに汚れがついてしまうといけなないので、白いクッション材に変えさせていただいています。そして、JR堀江駅が近くにありますから、ヨットやクルーザーで来て、駅まで歩いて行ってもらおうと、車がなくても松山市内に行けます。伊予鉄道さんと連携して、「パークアンドライド」という方法で、車で来られた方も「うみてらす」に車を駐車して市内にバスで行けるようになりました。そして、フリーWi-Fiは無料でインターネットに接続できるサービスで、「今日は堀江の港にやってきました。ここは給水も給電も充電もできていい場所です。今から道後温泉にJRに乗って行ってきます。」というようなことがインターネットで発信でき、堀江のことを知っていただけます。毎年、青空市やサマーフェスティバルなどのイベントを地元の皆さんが中心となって実施されていますが、これからも「うみてらす」を堀江地区活性化の拠点として活用してほしいですし、市もできる限り協力していきたいと思えます。次に、2巡目のタウンミーティングで出たご意見に対してです。平成25年5月のタウンミーティングでは、子どもたちの活動を支援してほしいというご要望をいただきました。2回目のタウンミーティングで、小学生ぐらいの女の子だったと思いますが、北部に児童館をつくってくださいというお話がありました。忘れられない光景でしたけれども、北条に児童センターができました。41地区全部に児童館や児童センターをつくるのができたらいいですが、そこまでのお金はありませんので、北部・南部・東部・西部とバランスよく配備をさせていただいています。市内で8番目となる児童館・児童センターとして、北条児童センターがオープンしました。0歳から18歳までの子どもたちが自由に来て遊ぶことができる地域の遊び場で、多くの方にご利用いただいています。この堀江で出たご意見も参考にさせていただきました。そして、

地域子育て支援センターを市内16カ所に、子育てひろばを市内5カ所に設置しています。子育て中の親子が気軽に集ってもらい、遊びや交流、相談などができる場所です。堀江地区には、認定こども園福角保育園に地域子育て支援センターがあります。3つ目は、児童クラブの受け入れ拡大です。国も子育ては大事だとよくわかってきましたから、子ども子育て関連3法というものができ、国の法律で全国一律に児童クラブの対象者が小学校6年生までに拡大されました。そこで、松山市では、平成27年度から、各児童クラブの状況に応じて小学校4年生以上の児童の受け入れが進んでいます。堀江児童クラブさんでも1年生から6年生までの児童の受け入れを行っていただいています。さらに、今年度から、次世代を担う子どもや若者グループからのまちづくり提案に対して、補助金を交付する制度を新たに開始しました。2回目のタウンミーティングでの声を受けてでもあります。今年度は小学生1団体、中学生1団体、大学生4団体の計6団体から応募があり、全ての団体に補助金を交付することになりました。以上、1回目と2回目のタウンミーティングでいただいた代表的な対応例について、ご紹介させていただきました。では、今日来ています部長や課長の自己紹介をさせていただきます。

**【市民部長】** 皆さん、こんばんは。タウンミーティングを所管しています市民部長の唐崎と申します。このタウンミーティング課のほか、まちづくり協議会などを担当しています市民参画まちづくり課、人権啓発課、市民相談課、市民課、支所を所管しています。どうぞよろしく申し上げます。

**【教育委員会事務局次長】** 皆さん、こんばんは。教育委員会事務局次長の杉本です。今日は学生さんもいらっしゃいますが、学校のこと、公民館をはじめ社会教育全般、文化財のことなどを所管しています。どうぞよろしく申し上げます。

**【保健福祉部副部長】** 保健福祉部副部長の野本と申します。保健福祉部は、国民健康保険や後期高齢者医療保険、介護保険、高齢者福祉、障がい者福祉、生活福祉、保育園、子育て支援、保健所を所管しています。どうぞよろしく申し上げます。

**【都市・交通計画課長】** 皆さん、こんばんは。都市整備部都市・交通計画課長の石井です。都市整備部では、港湾の整備、道路や公園など生活をしていく上で欠かせない社会基盤の整備や維持管理を主に担当しています。ほかには、住宅課で市営住宅や住宅行政も担当しています。本日はよろしく申し上げます。

**【市長】** 今担当分野をご紹介しましたが、台本なしのタウンミーティングですから、どんなことを聞いていただいても構いませんし、入庁してからその部署だけをやっていくわけではないので、ほかの部署にいた経験もありますから、持っている知識でお答えできることもあろうかと思っておりますので、遠慮なく聞いていただいたらと思います。よろしく申し上げます。

**【男性】** こんばんは。第1回目のときに堀江港の件で意見させていただいて、その後、ほりえ海の駅が完成して、今はまちづくりコミュニティ会議で受付などを担当して

います。1年目に比べて3年目になるとかなり利用数も増えて、実際の利用者の声を直接聞くと、かなり松山市に対して、よいイメージを持ってもらっていて、「道後温泉はすばらしかった、また来たい」と言っただけの方がかなり増えました。1年目に始めるときは、「海の駅は、本当に大丈夫なのか」という気持ちでしたが、今となっては「本当にできてよかった、これからよくするためにはどうすべきなのか」ということを、まちづくりコミュニティでも話しています。給電、給水、トイレなどを整備していただいて、利用者の方は、大変満足している状況です。気になる点としては、イベント等を年間4、5回ほど開催し、堀江地区の住民や企業に協力していただいているのですが、予算や人出やアイデアが頭打ちの状態です。海の駅を始めるときから今まで、私も市役所の色んな職員の方と関わって、ボランティアスタッフで来ていただいた多くの方々と知り合いになりましたが、この方たちのアイデアや行動力は非常に素晴らしいものがあったと思います。地元住民でできることと、行政でしかできないこともあると思いますので、地元住民ではもちろんこれからも一生懸命、イベント等を盛り上げるように頑張っていくすけれども、行政でも、担当課の枠を超えて、堀江を何とかしてあげたいという職員の方が多数いてくれたらうれしいです。そういう方がもしいらっしゃるようでしたら、勉強会を開いていただいたり、プロジェクトチームをつくっていただくというような形で、堀江をどんどん盛り上げていただいて、地元ではできないような海に関わるようなイベントなど協力いただいたら助かると思って、今日意見させていただきました。よろしくをお願いします。

**【市長】** 冒頭で松山市は41地区に分かれますと申しましたが、今、まちづくり協議会が、準備会を含めて23までできました。まちづくり協議会に対するサポートが市のすべきことだと思いますが、人的支援の一つとして、市民参画まちづくり課があり、職員10人を地区担当として配置しています。その職員は各地区の会議や行事に参加したり、運営の相談に乗ったり、また各種補助金の紹介をさせていただいています。市役所の中にはまちづくり協議会の運営や活動をサポートする有志の職員「まち協サポーター」というものを設けています。これは、職員が勤務時間外の空いた時間に、まちづくり協議会の会議や行事に参加したり、また会議の資料やチラシや広報紙をつくったり、ホームページやSNS、フェイスブックやインスタグラムやツイッターなどをつくったり、管理をお手伝いさせていただいています。このまち協サポーターには2種類あり、地域専属型といって、特定の地区のまちづくり協議会をサポートするやり方と、技能型といって、地区を特定せずに自分の得意分野でサポートするやり方があります。ですので、どうぞ遠慮なく市民参画まちづくり課までご相談いただけたらと思います。うまくつなぐことができればと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

**【男性】** こんばんは。昨年、松山市からの補助金をいただいてこの公民館の入口に堀江地区の史跡名勝のすばらしい看板ができました。この堀江地区には北谷古墳と

いうものがあります。これは昭和37年に松山市の指定史跡になった円墳古墳ですが、危険なため中が全部埋められた状況になっています。毎年、堀江小学校で史跡巡りがあって北谷古墳もコースの一部に入っていますが、そこへ行っても中が全然見えません。できればもう一度、掘り返しをしていただきたいことが1つです。それができなければ、中を埋める前の写真等がまだありますので、そういった写真づくりなどをしていただきたいです。もう1つは、北谷古墳のもう少し南東に、北寺跡という看板があります。この北寺跡というのは、室町時代、河野氏と香川の細川氏の紛争があったのを和解する話が出て、その両氏が和解した場所に指定されています。祝谷で、珍しい前方後円墳が出てきましたが、そういったものがこの北寺跡から出てくればと思い、試掘調査をしていただきたいです。書いている説明文を見ると、かなり大きなお寺で、3つの門があって、七堂伽藍というお寺があるそうで、その試掘をよろしくお願いします。

【市長】 私も久しぶりに堀江公民館に来させていただいて、ああ立派な看板ができているなと思いましたが、この北谷古墳と北寺跡については文化財ですから、教育委員会からお願いします。

【教育委員会事務局次長】 北谷古墳は、天井石と石積みの隙間がかなり空洞になっていたために、石室の崩落防止と周辺の危険防止のために養生しています。この掘り返しということですが、土嚢などを撤去することは古墳を壊してしまうことになり、石室の崩落の危険性があるため調査が難しいということで、あくまで古墳を保護するための対策であるということをご理解いただけたらと思っています。また、中の写真があるということですので、できましたらふるさと歩きなどで、写真を利用して説明いただければと考えています。北寺跡につきましては、担当課には資料として、「予陽河野家譜（よようこうのかふ）」と「伊予温故録（いよおんころく）」というものに出てくるだけで、ほかに資料がないものですから、資料が乏しく、文化財である史跡としての価値を判断することができないために、調査・整備することは難しいと考えています。

【市長】 なかなかご要望に沿えず申しわけありませんが、経緯を申し上げますと、北谷古墳は墳丘の盛り土が流れ出てしまって、天井石と石積みの隙間がかなり空洞になったために、20年前の平成8年に、所有者から石室内部への立入を禁止してほしいという申し出があり、入口に木の柵を設置して、立入禁止にしました。その後、平成13年3月に芸予地震がありました。石室の石積みが崩落する危険性が高まりましたので、所有者をはじめ、地元の有志の方から何とか保護してほしいという要望が松山市にありましたので、今、保護する策を取っているということです。大変申しわけありませんが、写真があるということですので、写真でご説明いただくのがよい方法ではないかなと思っています。北寺跡ですが、もう少し詳しい資料が出てくるといいのですが、今のところその2つの古文書に記載があるだけで、ほかに資料がないのが痛いところです。ご期待に沿えない答えで申しわけありませんが、現状はそのようなところかなと思っています。

【女性】 堀江地区には栄吾米というお米がありますが、その栄吾米は昔、堀江地区の人々を救ったお米で、それを地域住民として守っていきたいという思いがあります。そこで毎年、11月の堀江地区の収穫祭で栄吾米のおにぎりを提供していますが、今年は大気汚染による被害などで収穫量が少なく、栄吾米のおにぎりを提供することができませんでした。また、栄吾米はつくるのが難しいという面もあってつくる農家の人も減っているという現状にあります。そこで栄吾米の成分を分析していただいて栄吾米の特長を生かしつつ、品種改良などを行うことにより、もう少し育てやすいお米にしたり、成分分析により、健康によい成分などがあれば、それを生かした製品化なども行えば、より多くの農家の人がつくるのではないかと思います。その辺についてお答えいただきたいと思います。

【市長】 栄吾米については、以前もぎたてテレビを担当しているときに東大栗のほうで実際につくっている方のところに行かせていただいて、想いや歴史について聞かせていただきました。確かお遍路さんに行かれていますときに、高知の宿毛のほうだったと思いますが、見つけられて、こちらに持って帰られたと記憶しています。実際に食べたら香りが普通のお米と違いますよね。ポップコーンみたいなよい香りがして、栄吾米は私も好きですし、堀江小学校の方々が近くの田んぼでつくられているのもよく記憶しています。今のお話ですが、品種改良された時点で、栄吾米ではなくなる部分があり、それが少し難しいところだと思います。ですので、この歴史のある栄吾米をそのままやっていくのか、品種改良して変わっていてもいいからやっていくのかというのを、地元の方々がどう考えていくのが難しいところだと思います。皆さんにお伺いしたいのですが、東大栗のほうではつくる方が少なくなっているとか、イノシシにやられて減っているんですかということとか、堀江小学校で栄吾米をつくっていたと思いますが、それは継続しているんでしょうか、ということをお聞きしたいのですが、どなたかお答えいただけますか。

【男性】 私は、堀江小学校の農業指導員をしています。一部は栄吾米として、東大栗の農家のひとりが継続して種子を保存しています。その方が、イノシシにやられて難しいということで、来年ぐらいから、公民館が栄吾米づくりに取り組もうかなと考えています。堀江小学校は以前と同様、もち米と栄吾米をつくって、どのようなお米かを子どもさんに比較してもらい、昔の品種と今の品種、もち米の違いを勉強していただいています。

【市長】 ありがとうございます。今後、地元でどのように種として引き継いでいかれるか検討する必要があると思いますので、地元の皆さんから栄吾米についてのご意見を伺った上で、利活用について大学と協議することは可能ですから、皆さんのご意見を大事にしたいと思います。せっかくまちづくり協議会が堀江にはありますし、栄吾米について小学生は必ず関わっていますから、栄吾米のことを心に思っている方が、堀江には

多いと思います。今、現状として、おひとりの方が東大栗で守っていらっしゃるということでしたが、これをどうしていくかを地元の方やまちづくり協議会とも話していただいて、「我々はこうしていきたいんですけど、松山市で何とかサポートしてもらえんやろか」と言っていただくと、もうひとつ高い次元に入っていけるのかなと思っています。よろしくをお願いします。

【男性】 栄吾米について、堀江公民館あるいはまちづくり協議会も、これからも継続傳承していこうというスタンスにありますが、そのときに、この栄吾米の成分が一般の米に比べて優秀なのかどうなのかということがわかれば、それを傳承していくのにも力が入っていくので、もし成分の分析ができるような機関があれば、ぜひお願いしたいと思いますので、ご検討のほどよろしくをお願いします。

【市民部長】 申しわけありませんが、直接の担当が今日はいませんので、持ち帰って伝えます。可能な部分が十分あるのだらうと思いますので、話をさせていただいて、またお答えさせていただきたいと思います。

【市長】 松山市は北梅本に農業指導センターがあります。おそらく、今聞いた感じでは、県の機関とも連携して、分析などができるのではないかと受け止めています。また、お返事させていただきます。

【中学生】 夜間、学校から帰るときや外出するときに、暗くて細い道が多いですが、どうしたらよくなりますか。

【市長】 道路が細く、道路が暗いと、女の子はやはり心配だと思います。必ずタウンミーティングには地図を持ってきています。どうぞ皆さん、遠慮なく道路が危なく感じるよとか、街灯がほしいなという話をしていただいたらと思います。

【市民部長】 防犯灯について、お答えさせていただきます。まず、松山市の制度をお伝えしたいと思います。道が暗いということで、松山市としても防犯灯の設置を進めています。松山市の防犯協会を通して費用を出して、町内会の方々に設置していただいで維持管理をしていただく制度になっています。設置する手続きは、地元の方々から申請を受けるという形になります。具体的な場所をお教えいただきましたら、手続きは、市役所で地元と話をさせていただきますので、終わった後にでも教えてください。

【市長】 市役所で防犯灯を全部つけて、全部管理すると思われるかもしれませんが、実は、できるだけよい状態を保つために、地区でお世話をさせていただいています。松山市内に3万灯の防犯灯がありますが、電球が切れていたらすぐに対応することが大事だと思います。松山市役所は松山市二番町にありますけれども、そこで対応していたら、やはり対応が遅れてしまいます。地区の防犯灯については、地区の方が一番気づきやすいので、地区で設置して地区で管理していただくような形にしています。

【都市・交通計画課長】 大きな道路や交差点に、上から車を照らしたりする照明があるのはご存知かと思いますが、それらは国道なら国、県道なら県、市道なら市の道路管

理者が交通安全上の必要な理由や現地を見て設置しています。ただ、街路灯に比べると、光源が非常に強いので、近くの農家の方などから、農作物への影響が出るという声もあります。あとで具体的な場所を聞かせていただいて、現地を見させていただいて、お返事をさせていただけたらと思っています。

【市長】 農業をされている方でご存知の方はいらっしゃるかと思いますが、中には、この場所をつけてほしくないというのがあって、照明が夜つくとお米の生育に影響するところもあるんだそうです。前の仕事で、高校野球の取材や実況をしていたときに、三間高校という南予の米づくりが盛んなところに野球部ができたということで行きました。高校ですからナイターで夜練習しますが、ある程度の時間でナイターを消さないといけないという話を聞いて、なぜか聞くと、あそこは米づくりが大変盛んなところで、米の生産に影響するので、あまりつけておかないでくださいという話を聞いたことがあります。ですので、中には、ここに付くと困るなという場所もありますが、大体は皆さんのリクエストに応じてつけていきたいと思っていますので、遠慮なく言ってください。それと、どこが市道か、県道か、国道か、わかりませんよね。国道196号や国道33号などの大きな道はわかりますけれども、松山市内には国道400何号とかもあるんです。国道に関することでしたら市から国にも言えますし、県道でしたら市から県にも言えますから遠慮なく言ってください。

【中学生】 内宮中学校の学生です。2つ意見がありますがよろしいでしょうか。1つ目は、堀江駅のトイレが衛生的でなく、洋式トイレがないという面で、使いにくいことです。2つ目は、ボールが使える公園やテニスコートがないということです。

【市長】 短くまとめていただいて、ありがとうございます。JR堀江駅のトイレについては都市・交通計画課長から、ボールの使える公園については私からお答えします。

【都市・交通計画課長】 堀江駅のトイレは、JR四国さんの所管ということで、JR四国さんに問い合わせ、何とかしてほしいという要望はしましたが、なかなか難しい状況にあるという返事が1回返ってきています。ただ、伊予鉄道さんの駅では、郊外駅の久米駅、土居田駅、余戸駅などで、松山市の補助金と伊予鉄道さんのお金を使ってトイレをつくったという経緯がありますので、地元の方もお困りになると思いますので、さらに強く継続的にJRさんに訴えていきたいと思っています。

【市長】 ボール遊びができる公園については、松山市ではできるだけ増やしていきたいと思っています。わかりやすく話したいと思いますが、堀江では堀江中央公園で、ボール遊びができ、今、フェンスのかさ上げをする工事をしています。前市長の中村時広さんのときから始まって、私も継続してボール遊びのできる公園を大体1年に1カ所から2カ所ずつ増やしてきていますが、ボール遊びのできる公園の難しいところは、2つの意見があるところです。松山市は市長へのわがまちメールといって、直接メールが届く制度がありますが、ある公園のそばに住んでいる中学生の女の子から私にメールがき

たことがあります、こういう内容でした。私は公園のそばに住んでいますが、困ることがありますと。公園で遊んでいるボールが私の家に入ってきます。そして、私の家に子どもたちが勝手に入ってきて、そのボールを取って帰るんですと。市長さん、何とかしてくださいという声があったんです。その気持ちもわかりますし、ボール遊びができる公園をという気持ちもわかります。例えば、公園デビューという言葉がありますけれども、小さいお子さんが公園に行って遊びます。そこで、やはり木のバットを振ったり、サッカーボールを思い切り蹴っていると、小さいお子さんたちは遊びにくくなるので、ちゃんとルールづくりをして遊ぶというのが、ボール遊びのできる公園について大事なところだと思います。松山市内には300カ所を超える公園がありますが、市役所で全部管理するというのではなくて、地元の方々に、公園管理協力会をつくってもらって管理してもらっています。トイレがある公園もありますが、その掃除もやりやすくなります。公園管理協力会の方々にも協力してもらって、できるだけボール遊びのできる公園を増やしていきたいと考えています。

【都市・交通計画課長】 市長が説明されたフェンスの件ですが、2方向あり、1面が今年度、もう1面が来年度に完成ということになっていますので、1面だけ今年度完成するというご理解していただけたらと思います。

【市長】 堀江地区には11カ所の公園があって、そのうちボール遊びができる堀江中央公園とソフトボール専用グラウンドを併設している東大栗公園があります。

【中学生】 こんばんは。私がいた小学校でお願いしたいことがあります。南校舎のトイレが全体的に少し暗い上に、壁もさびたように茶色くなっているので、これからの低学年の子たちも安心して使えるように、できれば直してもらえればと思っています。

【教育委員会事務局次長】 堀江小学校には4つの校舎があります。そして、そのうちの3つの校舎が耐震化工事に合わせて改修を行っていますが、今お話がありました南校舎はまだ未改修となっています。この南校舎の明確な改修の時期は未定ですが、今後施設の老朽化に伴って実施する大規模改修の際に、トイレの改修を行いたいと思いますので、もうしばらく我慢していただけたらと思います。

【市長】 いずれすることにはなると思います。南校舎は昭和53年にできてまだ未改修ですので、いずれ大規模工事をする形になると思いますので、お待たせして申しわけないですけれども、そのときにさせていただいたらと思っています。松山市全体の話をさせていただきますと、阪神大震災もありましたし、東日本大震災もありました。東日本大震災は、私が平成22年11月に就任させていただいて、4カ月後の平成23年3月に起きましたが、松山市では、もともと阪神大震災を受けて、小学校中学校の校舎を耐震化していこうとしていました。小中学校は将来を担う子どもたちが長い時間を過ごす部屋ですから、この小中学校の耐震化工事はまさに有効な工事であるということで、本当は平成33年にすべて小中学校の耐震化が完了する予定でしたが、思い切り前倒し

してやろうということで、全部終わりました。南校舎の改修もできるだけ急いでやっていきたいと思っています。体育館も耐震化されていないといけませんので、体育館もすでに終わっています。公民館も避難してくるところなので耐震化を進めていまして、番町公民館だけ残っていて、今地元と協議を進めているところです。あと、消防のポンプ蔵置所、消防団が機材を置いたり、集まるところが耐震化できていないと、大きな地震が起こってさあ出発しようと思ったら、壊れていて出られなかったではいけないので、消防団のポンプ蔵置所の耐震化をしています。このように、一気にやってしまうとお金が苦しくなってしまうので、何から先にやるべきかという順番をつけてやっているところです。できるだけ急いでいきたいと思いますので、ご理解をよろしくお願いします。

【男性】　こんばんは。今日はわざわざ来ていただいてありがとうございます。堀江小学校PTAでおやじの会、坊っちゃんクラブの代表をしています。小学校関連のことが出ましたので、私からの提案を聞いていただけたらと思います。我々は松山市に対して「あれやってくれ、これやってくれ」というばかりではいけないと思ひまして、小学校のことで提案があります。校舎もだいぶ古くなり、あちこち傷んでいて、例えば校舎の壁の汚れや亀裂など、軽微な損傷も増えてきました。私は時々小学校に掃除に行っていますが、少しでもいい環境で子どもたちに教育を受けさせてやりたいと思ひまして、軽微な損傷や傷みとかコンクリートの欠片とかペンキの剥げとかを、我々ができる範囲でして、行政に頼るのではなくて、費用の点もPTAやおやじの会から賄って我々でやることはさせていただけないものかと思ひます。当然、松山市の財産になると思ひますので、本来は施設を管理する担当の方に許可をもらわないといけないと思ひますが、そういうことを簡素化していただきまして、何とか校長の判断で軽微な補修をやるようにしていただけたらと思ひます。よろしくお願いします。

【市長】　まず私からお礼を言わせていただいて、教育委員会からお答えします。堀江小学校さんは、おやじの会を含む地元の方々が、例えば松の木の剪定とか簡単なペンキ塗りとか校内の掃除など、学校が通常行っている維持管理についておやじの会の皆さんが行っていただいているということの報告を受けています。本当にありがたいことだと思ひています。また、これからもできる範囲でお願いできたらと思ひます。

【教育委員会事務局次長】　本当にありがとうございます。校舎の工事の補修につきましては、やはり専門性が必要になってきますことから教育委員会が日常管理を行って、学校と連携をとって責任を持って必要に応じて修理等をさせていただいています。お話のありました軽微な補修ということですが、どの辺りまでが本当に可能なのかどうかを一度担当課に持ち帰りまして、実際にどこまでだったら大丈夫ということをお知らせさせていただけたらと思ひますが、基本的に校舎の工事につきましては専門性が必要になりますから現在のところはお願いする範囲ではないかと考えています。

【市長】　本当にありがたいご提案で、それだけ言うてくださるんだからと思ひるところ

ですが、実は学校の校舎というのは法律に定められた定期点検とか修繕工事とか、専門性が必要な業務があります。法律で決められていますので、もし何かあって、日ごろの管理はどうなっていたのといったときに、皆さん方に責任を負わせるわけにはいかないので、これは我々行政がすべきこととなりますが、行政ですべきことはしっかりとやっていきたいと思ひますし、また皆さん方にお願ひできることについては非常にありがたいお申し出ですので、お願ひできたらと思ひています。本当にありがとうございます。

【男性】 堀江児童クラブの会長をさせていただきます。よろしくお願ひします。先ほど市長さんからも報告がありましたように平成27年度から堀江児童クラブも待機児童をなくすという意味もあり、1カ所増設していただきありがとうございます。そして今年の夏あたり、運動場の埃がたつということで隣近所から色んな苦情がありまして、すぐに松山市に連絡を取り、業者さんを連れてきて早急に対処していただきまして、ありがとうございました。堀江児童クラブも2カ所で運営していますが、まず1つ問題が出てきたのが支援員の増員の問題です。2カ所ということで今まで指導員であったのが支援員に変わり、支援員の確保をどうするのかという問題で、松山市も募集してくれますし、児童クラブとしてもハローワーク等で募集をかけました。けれども半年ほどかけましたが1人の応募もなく、地元の私のほうで支援員の確保をしました。何とか今は確保してやっているところです。もう1つ出てきたのが2カ所で運営をしている関係上、どうしても費用面の負担が増えてきていることで、支援員の方からもお菓子代とかDVDとか子どもにかかる費用を切り詰めた対応しかできないとか、2カ所で運営する関係で電気代など固定費もかかってくるということで、最終的には保護者の負担を少し上げないといけないという相談がありました。たぶん10カ所以上が増設してやっていると思ひますけれども、費用をうまくやっておられるのかどうか、堀江児童クラブのように保護者の負担もある程度やむを得ないのではないかなと私も考えているところです。固定費の負担を市でできないのか、あるいは保護者負担をできるだけ抑えて今までどおりの運営ができるのか、そのあたりをお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

【保健福祉部副部長】 ご質問のありました児童クラブの運営費の考え方ですが、国では運営費の概ね2分の1を保護者負担で賄うように考えています。保護者負担金は先ほど言われましたおやつ代や児童クラブの運営に必要な電気代や水道代、電話代、消耗品の購入や校外活動の際の施設入館料などに使われています。それで堀江児童クラブの運営費の実績を調べましたら、平成27年度実績で市が出しているお金は60%ということになっています。松山市がもう少し支援ができないかということになりますと、他のクラブとの均衡や国が示している2分の1を今上回っているのがさらに上回るということになりますので、今までどおりのご負担でお願ひできないかなと考えています。ご負担をおかけいたしますが、何とぞご理解いただきご協力いただきますようお願いいた

します。

【市長】 今、市長の立場で話をさせていただくと、どの地方自治体も厳しい時代を迎えていると思っています。少子高齢をできるだけわかりやすく説明したいと思いますが、まず少子ということでは、やはり子育てが大変なので児童クラブを増やしてくださいというニーズが増えています。児童クラブをつくろうと思ったらそれだけのハード整備をしないといけないわけです。そして待機児童という言葉もあると思いますけれども、やはり保育所をつくってくださいというニーズがすごく多いです。ですから保育所や児童クラブをつくるためのお金がかなり増えています。高齢というならば、おじいちゃんおばあちゃんたちの医療・福祉・介護にかかるお金は増えています。一方の税の部門でいうと、国自体が1千兆円の借金を抱えているとよく耳にされるとは思いますけれども、仕送りと似たところがあって、親元が苦しいですから地方に配分されるお金がこれから増えるとはとても考えにくいですね。これはどこの地方自治体もそうです。松山市がたちまち北海道の夕張市みたいに経営破たんをするわけではないのでご安心いただけたらと思いますが、どこの地方自治体も厳しい時代を迎えています。概ね60歳で退職をされたとしたら、今60歳過ぎの方は非常に元気じゃないですか。高齢者の方を弱者とは考えないで知恵ある方々、経験のある方々と考えるようにしています。今、本当に市長の立場から皆さんにお願いをしたいのは、そういう方に、よろしければ先ほどの児童クラブの支援員さんとか何らかの役割を社会で果たしていただけると、人と人がつながってよくなるんです。介護でも家庭で抱えるようにして介護をしていただらしんどいですが、「ちょっとだけおじいちゃん見よってくれる、おばあちゃん見よってくれる」、ちょっとだけ見てくれるだけでも気持ちが変わって介護も助かります。子育ても若いお父さんお母さんが抱えるように子育てをしていただらしんどいけれど、近所の方が「ちょっとだけ見よってあげらい」と言ってくれるだけで、「何か悩んどん。私が子育てしよるときはこうやったよ」と話を聞いてもらうだけでも、楽になります。やはりこうやってつながっていくことが大事だと思います。今、松山市では60歳になって家に閉じこもりになるのではなくて、何かの役割を果たしていただこうということで60歳の年代に近い方々に集まっていただく生涯現役交流集会がありまして、「こういうボランティアがありますよ」とか「まちづくりに参加していただくことがありますよ、こういう楽しさがありますよ」という集会を設けています。ですので皆さんのできる範囲でまちづくりにご協力をいただけると色んないい面が出てくると思っていますので、よろしければお願いいたします。

【男性】 まちづくりコミュニティ会議の生活安全部をしていて、私も堀江地区の自主防災の世話もしています。生活安全部が防犯と防災の活動をさせていただいているんですが、防犯に関しては防犯協会から年間の活動費をいただいています。ただし防災に関しては年に1回だけ10月ごろに市の消防からいくらかお金を出しますということで

申請させていただいて、それで12月に支給されますが、実は自主防災ということでは活動費がありません。それで生活安全部から自主防災の費用を多少なりとも出させていただいています。これは年間を通じていわゆる活動費というものを出していただけないかということをお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【消防局次長】 消防局の中矢と申します。ご質問ありがとうございます。堀江地区の自主防災組織は非常に活発な活動をしていただいています。平成27年度は年間17回の訓練や研修会をしていただいて、延べ1,200名以上の方が参加していただくという非常に熱心な活動をしていただいている地区であると、私も認識しています。活動費の問題は、先ほどおっしゃいましたとおり地域ぐるみの防災支援事業というものを地域防災課でやっています。この活動補助につきましては、ネットワーク会議の中で各地区の地区防災計画の作成補助と手上げ方式で提案型の支援制度をやっています。このように松山市もいろいろな制度を充実させて、今後も自主防災組織の活動を支援していきたいと考えています。

【市長】 今日、防災マップを持ってきていますので、皆さんに知っていただきたいことがあります。同じ想いだと思いますが、大きな災害が起こって我々行政職員、消防職員、救急隊員が一生懸命皆さんのところに助けに行きますけれども、大きな災害が起こってしまうとどうしても時間がかかってしまいます。そこで自主防災組織の存在がすごく大事になりますし、日ごろは別の仕事をしていて、そしていざというときに駆けつけてくれる消防団の存在も大事です。自主防災組織の活動をこれからもサポートしていきたいという思いで補助金などいろいろな皆さんの声を聞きながら進めていきたいと思っておりますが、今日は皆さんに2つのお願いがあります。自主防災力を高めていくために、皆さんのご家庭で家具の固定をしていますか。タンスの固定はされていますでしょうか。東日本大震災のときに私は羽田空港で帰宅難民になりましたが、そのあと南三陸町が松山市の支援の担当になり、南三陸町に2回行きました。私が先頭に立たせていただいて防災の知識を高めよう、意識を高めようということで防災士の資格を取らせていただき、その防災士の資格を取るときに勉強しました。震度7とかの大きな地震になったらあの重いタンスが飛ぶような勢いで倒れてきます。重いタンスが手や足に当たったら骨が折れます。また、当たりどころが悪ければ命を落とすようなことにもなってしまいます。皆さん、タンスを1人の力で運べますか。タンスの中の服を除いてご夫婦2人で運べるぐらいじゃないかなと思います。そんな重いタンスがいざというときには体に飛ぶような勢いで倒れてきます。体に当たらなかったとしても、逃げ道がふさがれます。ですので、家具固定はぜひともしていただきたいと思っています。また、もう1つのお願いは備蓄です。この防災マップは全戸配布ですからすべてのご家庭に配布されていますが、この中にもどういう備蓄をしていただいたらいいか書いていて、役立つ情報がいっぱいありますが、我々も例えば坊っちゃんスタジアムの下に備蓄物資を置いています。分散備蓄は熊本地震の経験ですけれども、各公民館に備蓄物資を置いていけば皆さんに早く

届くようになるということで、集中備蓄と分散備蓄の両方をやっていますけれども、皆さんには各自で1週間分の備蓄をお願いしたいんです。それぞれで1週間分の備蓄は面倒だと思われるかもしれませんが、我々が皆さんにお配りするときには公平性という観点から並んでいただかなければなりません。でも皆さんが備蓄をしていただいたら好みのものが手に入る。そして並ばなくても手に入るという2つの利点がありますから、大変お手数ですけれども、我々としても行政としてしっかりと備蓄をしまりますけれども、皆さんもそれぞれで1週間分の備蓄をよろしく願いいたします。賞味期限が切れそうになったら家で食べてもらって補充をしていくかたちがよろしいかと思しますので、この2つをお願いします。

【女性】 堀江小学校のPTAの役員をしています。小学校周辺の白線の引き直しをしていただきまして、子どもたちの安全が確保できてありがたいと思っています。この場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございます。それで、もう1つお願いがあるのですが、花見橋のところですが、信号にかからない抜け道として日ごろから交通量が多い場所があります。そこは道路がガタガタで、そごうマートに買い物に来た高齢者の方や子ども連れの方とかが、車を避けたときにガタガタ道でこけそうになることがあります。非常に危ないことがあります。そちらを改善していただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【都市・交通計画課長】 ここに来る前に一度見てきましたが、確かに舗装がガタガタでした。ただ、この道路は、愛媛県が河川を管理するための道としてつくったものです。いろいろやり方はありますけれども、例えば市道にしてしまうというやり方とか、管理は県の河川道路であっても県に認めてもらって市が舗装するというやり方があります。それから、市道として認定するという事になると、用地の提供を伴う場合がありますので、地元の土地改良区、町内会さんを代表者として隣接する土地の提供等の同意を含む事業要望書を出してもらおうというやり方があります。これはあとで詳しく説明するか、後日担当者に説明させることも可能ですけれども、そのように優先順位を付けてやっているような状態ですので、その辺を個別相談させてもらいたいと思います。

【市長】 あそこは県管理なんですよ。市から県に言うてみるというのはどうでしょうか。

【男性】 その問題を解決しているところなので、経緯を説明しますが、よろしいでしょうか。堀江の区長をしています。大変お世話になっています。浸水対策で堀江のポンプ場が30年度に完成します。また、今、国土調査を堀江でもやっただいていまして、これも30年度に完成します。そのことについて、感謝申し上げます。今の道路については、10年、20年前から県とも折衝し、また、市道75号線から下りているところで県の河川管理道路ですけれども、民地になっていて個人の所有になっているんです。その個人の所有になっているので手が出せないというのが愛媛県にも、堀江土地改

良区にも、松山市にもあります。それで今、この国土調査を機に、公共嘱託の調査員の方と松山市の用地課の方と一緒にこの問題を解決しようと思って、立会をしています、その方が出てきてくれません。それは10何年かかって私たちはやっていますですけども、県の管理河川道路が実は個人名義になっているんですよ。番外の3番という形になっているのですが、それを今解消するべく、堀江土地改良区と公共嘱託と用地課とでがんばってやっています。できれば、すぐ舗装できますし、県の管理課にも伝えていきます。

**【市長】** 経緯を教えてください、ありがとうございました。そういう経緯があるんですね。私たちとしてもできるだけ早く解決していきたいと思いますので、よろしくお願いします。堀江地区の通学路の話をして。平成24年の春ぐらいだったと思いますが、京都府で通学中の子どもたちの列に深夜一晩中運転し続けていた若者の車が突っ込んで痛ましい事故になったことがありました。松山市ではそういう通学路での事故を防いでいこうということで、その年の夏休みに、国の道路もあるので、国の人も出てきてください、愛媛県さんも出てきてください、松山市も出ていきますよ、小学校・中学校のPTAの方々出てきてください、先生方もお願いしますということで、通学路の緊急点検をさせていただきました。市内の300カ所くらいの危険箇所があがってきまして、堀江地区では13カ所あがってききました。これは全部松山市のホームページで公開していますので、赤で書いているところはこういうふうに改良させていただきましたというところ。あと3カ所残っていたのではないかと思います、残っているところは地元の協力をいただかないとできないようなことがありまして、ハード的にできないところは、例えばソフト面で先生方に指導していただいて、こっちの道を通ろうとかソフト面の対応をさせていただきます。これからも危険箇所は時に応じて変わっていくものだと思いますので、危険箇所の対策をしていきたいと思います。松山市役所には黄色い道路パトロールカーがありますが、松山市の市道だけでもものすごい距離があります。市役所のパトロールカーだけでは穴が開いているとか、路肩が崩れとるところをなかなか発見しにくいので、見つけていただいたら、どうぞ遠慮なく市役所に連絡をしていただけたらと思います。できるだけ早く対応します。郵便局の方々は配達でよく通っていらっしゃるんで、郵便局さんと協定を結んでいるぐらい我々は道路の危険箇所を解消していきたいと思っていますので、皆さん遠慮なくそういうところを見つけたら教えてください、いただけたらと思います。よろしくお願いします。

**【男性】** 86才です。この中で非常に皆さんのお世話になる立場にいる人間ですが、先ほど、市長さんから60才で退職された方、これが生涯現役交流集会を持つようなパワーや能力といいますか、非常に高く評価されているという話を聞きました。私は、高齢クラブ連合会の副会長をしていて、いつもお世話になります。安全対策で高齢者の弱い点から1つ、高齢者の福祉に関しては、高齢者といっても強いぞということを1つ申

し上げて、ご意見を聞きたいと思います。安全対策のうちの交通安全ですが、私は、免許の更新が来ていまして、86才ですが最後の更新をしようか悩んでいます。松山市は限界集落に近いような中山間地域から離島まで色々な条件を抱えた地域がありますが、免許の返納の推進策を松山市としてどういうふうに考えているかというのが1つです。それから、もしわかっていれば、コミュニティバスを走らせているところが松山市にあるかどうか。これが交通安全と高齢者の事故の関係の問題です。もう1つは、平成28年11月6日の愛媛新聞に日本老年学会の記事が取り上げられていて、75才からが高齢者であると。厚生労働省が65才以上と高齢者の定義をしてきたわけですが、これは50年も経ちますと実態に合わないなと私どもも日常感じています。実は、松山市の高齢クラブ連合会の1つの課題でもあるのですが、65才から74才までの支え手といわれる人たちの動員計画は市の政策としてないのでしょうか。堀江地区も福祉施設が多いのですが、大規模災害のときの避難はどういう形で協力できるのかと。仕事を持っている人は地域にいませんので、そういうことを考えるとなかなか具体的な策が見つからない。これについて、どう考えておられるかお伺いをしたいと思います。

**【都市・交通計画課長】** まず、免許返納の推進策として、松山市では65才以上の市内在住の方が免許返納をされたら5,000円相当の伊予鉄道のICカードやタクシークーポン、JRの5,000円相当の券を1回限りですけれどもお渡しをしています。そのほかに、県警や愛媛県さんでも飲食店と契約して飲食店の2割引とか、伊予銀行さん愛媛銀行さんの利息割り増しというものもあります。推進策としては、高齢者の交通安全講習会があって松山市が出向いていきますが、そこでも呼びかけている状況です。コミュニティバスと呼ばれるものがあるかということにも関連しますが、免許返納すると交通がないと外出できないということがあります。そういう地域の方の足の確保については、アンケートを実施したり、地域の皆さんと一緒に、地域の実情に応じた足の確保、例えば、興居島では公共交通がないということで、近所の方がタクシーの半額ぐらいで高齢者の方を運んでいく、昔でいう白タクの合法化みたいなものがあるのですが、そうものができた実績もあります。コミュニティバスという名前を使っているバス路線はないですけれども、市内中心を巡回しているバスなどは、他都市でいうコミュニティバスに近いような形かなと思います。

**【保健福祉部副部長】** ご提案の74才までの方をどう活用していくかの具体策は、今申し上げられる材料はございません。ただ、先ほど言われましたように災害で避難するときに、一人暮らしの高齢者の方とか、寝たきりの方とか、助けに行くのはどうしても近所に住んでおられる方の力が必要になります。そこで、松山市は、避難行動要支援者の名簿を提供する事業に取り組んでいます。実際に取り組んでいるところは、石井地区、三津浜地区のまちづくり協議会さんで、受け入れ態勢の名簿を管理していただく体制を整えていただいて、松山市から避難のときに手助けがいる方の名簿をお渡しして、日ごろからこの人をどうするのかということをごまじり協議会で話していただいています。

す。もし、堀江地区でそういったことに取り組まれるのであれば、事業の説明などさせていただきますので、ぜひご検討いただけたらありがたいと思います。

【教育委員会事務局次長】 65才から74才までの皆さんですけれども、例えば学校ではゲストティーチャー制度というものがあまして、地域の皆さんの活用ということで、ふるさと堀江についてや昔の遊びについてなどをお聞かせいただいたり、あるいはこども教室と一緒に触れあっていたり、このほか公民館で様々なことに活躍いただく場がありますので、ぜひ一度お尋ねいただけたらと思います。

【女性】 堀江小学校PTA副会長をさせていただいています。最近、堀江小学校の近くで不審火が相次いでいて、いまだ犯人が捕まっていない状態です。学校からの注意喚起メールや地域の方の青パト活動などが行われていますが、保護者としては不安が隠せません。発生時間帯も早朝やいろいろな時間帯ということで、小学校や児童クラブでは安全対策をしっかりとしないといけないところですが、松山市で行っている堀江小学校や児童クラブへの安全対策を教えてください。

【教育委員会事務局次長】 教育委員会では、学校の安全対策の1つとして、防犯カメラを設置しています。設置場所は詳しくは申し上げられませんが、不審者を未然に防ぐ一定の効果があるものと考えています。また、先ほどお話がありましたが、長期休業中は夜間の見回りということで青パトであったり、地域の支援員さんが回ってくださったりして安全対策に努めています。

【保健福祉部副部長】 児童クラブの安全対策ですが、児童クラブごとに災害別の対策マニュアルを定め、それに基づいて、定期的に訓練を行っています。堀江児童クラブでは年3回以上、学期ごとに火事や不審者や災害に備えて最低1回の避難訓練を実施しています。

【市長】 市民部が安心安全の担当部署になっていますので、警察とも連携しながら、皆さんの安心安全に努めていきたいと考えています。教えていただいてありがとうございました。手を挙げてくださっているのに、当てられなくて申しわけありませんでした。時刻は、予定の8時半がまいりました。本当は手を挙げたかったけれど、なかなか言い出せなかった方もいると思いますが、市長へのわがまちメールといって直接メールが届く制度も設けていますので、遠慮なく声を寄せていただけたらと思います。最後に私からお願いします。愛媛マラソンが近づいてきました。今年は2月12日になっていますけれども、私も実際3回走らせていただいて、遅いですが何とか完走させていたのですが、帰りの堀江での歓声はものすごくありがたいです。愛媛マラソンは全国でも特筆すべき人気の大会になっていますが、愛媛マラソンの人気の秘密は応援の多さ、おもてなしのよさ、給水所でのボランティア、こういったおもてなしがものすごく人気になっています。テレビで見ることもできますよね。でもこんなに寒いのに、すべての人がランナーを知っているわけでもないのに、こんなに応援に出てきていただいてあり

がとうございます、給水所でボランティアをしてくださってありがとうございます、そのありがとうを伝えるために、私はできるだけ手を上げて、顔を上げて、走らせていただいています。去年は20キロまでの練習はできていたんですが、なかなか時間がとれなくて、20キロの北条のバイパスの向こうまでは非常に調子よく走っていたんですが、そこからは調子があくんと落ちて、堀江に来たときには、手は上がらない、顔は上がらない、足も上がらない、皆さんの声援に応えることが全くできないような状況でした。自分としても悔しい思いがあったものですから、今年は30キロ、35キロ、この堀江辺りを走るときも、できたら手を上げて、顔を上げて、足を上げて、走りたいなと思います。堀江小学校のところに、ドリンクを出していただいている、本当に堀江の皆さんの応援に心から感謝を申し上げたいと思います。ランナーの皆さんは、全国各地から来られますけれども、堀江での本当にしんどい、大の大人でも泣きそうになる辛さを堀江の方々が応援してくださっていますので、心から感謝を申し上げます。上り坂はしんどいので、みんな大体下を向いて走るようになります。下り坂のほうが比較的顔を上げていますかと思いますが、できるだけ声援にお応えして走りたいなと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。最後に、堀江にはまちづくり協議会があります。2つのゲンといいますけれども、財源と権限をいい組織ができているなら地区にお渡ししましょうというのがまちづくり協議会です。やはり、よい組織でなければそういうことはできませんので、引き続きまちづくり協議会にご協力いただけたらと思います。今日は色んなご意見をいただきましてありがとうございました。

—了—